

- 2014年8月某日、当時の当会防犯防災部長の 声掛けで地域防災担当5名が沼南庁舎1階(当時 のふる協活動拠点)に集結し協議を開始
- これまで当会レベルでほぼ皆無であった地域防災活動の必要性を基に、先ずは地域住民防災の実情を調査(アンケートの実施)
- その結果、当地域全体の約3割は防災訓練などの活動を実施。但しその大半は集合住宅において消防法の規定で実施する「防火・消防訓練」で、本格的な防災訓練※を実施する団体は限定的であった。※住民安否確認、避難所移動と運営等

- 恒常的防災訓練実施のため、先ずは各地域団体の 防災担当等の代表役員を招集した定例会議実施を 目指した(現状の毎月末土曜日午前中の「防災活 動意見交換会」がこれになります)
- 本会議は、地域支援課(現、市民活動支援課)ならびに、当地域の市災害対策本部員の代表となる 沼南近隣センター職員もオブ参加し、地域団体や 避難所学校代表者を構成メンバーとしています
- 上記会議の実施を通じ、2015年秋から地域一斉防 災訓練を開始(2020年以降の感染症拡大時期に一 時的に中断)、2023年以降に地域防災訓練が再開

- 2024年以降、コロナ禍以前までの一斉訓練(同じ日時に一斉に実施)を、「避難所毎に実施日を定める」スタイルに修正して実施→昨年度は特別事情で開催できなかった2カ所以外の計5カ所の避難所で住民参加型避難訓練を実施
- 今期においても、次頁以降掲載の訓練の実施を各団体に要請し、より多くの地域住民が実践的防災訓練に参加されることを期待します
- 6月28日(本日)の会議から、具体的な訓練内容の協議を開始します→具体的内容は次頁以降へ

- 《具体的訓練内容》…詳細は次頁以降を参照
- □ 災害時に怪我をしない行動訓練(例:シェイクアウト訓練)市は一昨年から市全体での同訓練を推進中
- □ 安否確認訓練:各団体レベルで、発災直後の各住 民安否を確認する訓練で、結果を柏市(地区災害 対策本部)への電話以外の手段での通報を含む
- 避難所までの移動及び避難所運営訓練:安全に避難所に住民が移動できる訓練、および、避難所での住民受け入れや避難所開設の訓練を進めます(市担当職員や中学高校生の運営参加を期待)

これが柏市内21カ所で広がれば、確実に柏の市民防災力はアップします

私たちが今やっておきたい3つの訓練(昨年度防災講習会資料より)



2024年6月29日

防災講習会·第一部

風早北部地域ふるさと協議会 防犯防災部長 古山 博之

るしくお願いしま

① シェイクアウト訓練



大地震の際に自分の身を守る大切な行動

覚えてますか?



大規模災害時の大怪我 は死に直結します



最悪の場合医師や看護師 がいなくなる?

柏市災害医療対応医療機関配置図



各家庭で

地域・ ご近所で



安否確認訓練















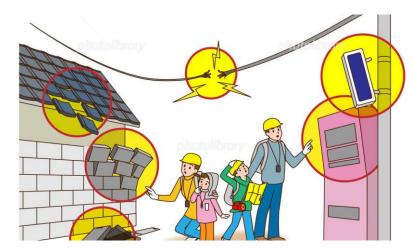
ひなんばしょ **避難場所**

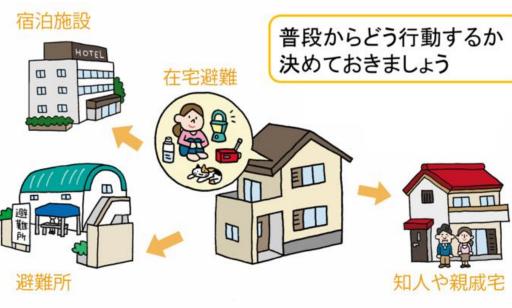
3 避難行動·移動訓練

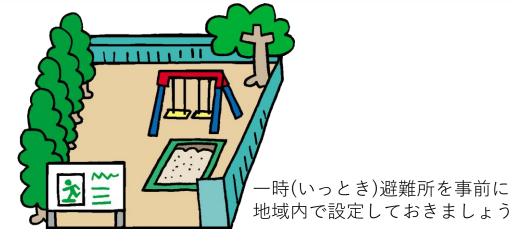


違いは判りますか?









市地区災害対策本部員 (市職員)との共同訓練を 目指します



3 避難所初動訓練 訓練運

地域在住中学・高校生の 訓練運営参加を目指しま



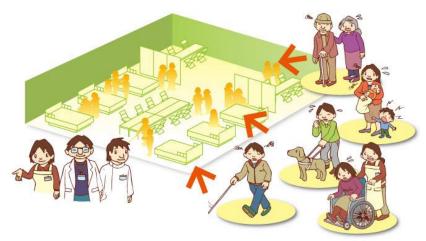












先ずは・・・

- ▶ 訓練実施日時を決めましょう(荒天中止を想定し、 できれば予備日も考えましょう)
- ▶ 住民に広く実施を案内しましょう。案内のタイミングは、実施日からさかのぼって1月~2月前、できれば、同じ内容で実施一週間に再度お知らせしましょう(白黒印刷の増刷は当会で行います)
- ▶ 今期は、防災講習を当会から講師を派遣して行います。時間は30分程度。テーマは「発災時のトイレの備え」です。実施要望を早めにお申し出ください